啓発活動	実施回数	参加者数等	内容等
霞が関特別講演	春　５大学18回 秋　４大学13回	延べ　約4,200人	大学生、大学院生に対し、各府省の第一線の行政官を講師とする行政課題についての講演
公共政策大学院生 法科大学院生 霞が関インターンシップ	公共政策大学院　夏１回	７大学院47人　15府省	公共政策大学院生及び法科大学院生が各府省の業務を体験（２週間程度）
	法科大学院　夏・冬２回	７大学院23人　11府省 ７大学院14人　９府省	
女性行政官による女子学生のための集中講義	２大学３回	延べ　約340人	女性の採用拡大等を目指し、平成23年度より新たに実施
政策立案ワークショップ	13回	延べ　約240人	政策の企画・立案過程を模擬体験するため、平成23年度より新たに実施

その他	実施回数	参加者数等	内容等
大学主催就職ガイダンス	84大学　101回	約5,300人	各大学の就職ガイダンスに人事院職員を派遣
メールマガジンの配信	月２回(14日・28日)	登録者数約5,900人	国家公務員試験、採用関連情報を幅広く発信

総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会

人事院は、公務に関心のある学生等を対象とした合同業務説明会（総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会）を全国の主要都市において実施した。教室形式により、各府省ごとに業務内容をはじめ、求める人材や仕事の魅力などについて説明した。また、各会場に相談コーナーを設け、新たな試験制度の内容、試験方法、出題分野など参加者からの質問に対応した。

イベントの参加者からは、「大変参考になった。」「各省庁の職務、政策について大変よく分かった。」などの声が寄せられた。

霞が関ＯＰＥＮゼミ

人事院は、各府省と連携し、大学生・大学院生などを対象に霞が関ＯＰＥＮゼミを実施した。霞が関ＯＰＥＮゼミは、各府省を開放して庁舎内を見学したり、職員の話を直接聞く機会を提供することを通じて、公務への理解と関心を深めてもらうことなどを目的としている。

	第１回目	第２回目
実施月日	平成23年12月１日（木）・２日（金）	平成24年３月８日（木）・９日（金）
参加府省	25機関	25機関
参加者数	延べ7,528人	延べ5,408人

霞が関特別講演

人事院は、公共政策大学院等と共催で、大学生・大学院生などを対象に霞が関特別講演を実施した。重要な行政課題について各府省の最前線で活躍する本省課長・室長級の行政官が講演を行い、公務への理解と関心を深めてもらうことなどを目的としている。

前期（春）	東京大学公共政策大学院、一橋大学、名古屋大学、京都大学公共政策大学院、九州大学で、計18回38講演実施、参加者数：延べ2,188人
後期（秋）	北海道大学、東北大学、東京大学、早稲田大学で、計13回28講演実施、参加者数：延べ1,978人

霞が関インターンシップ

◎　公共政策大学院生インターンシップ（平成19年度より実施）

公共政策大学院の学生が各府省の実際の業務を体験し、行政課題を研究することに協力するとともに、公務理解に資することを目的としている。

（８月～９月に実習、12月に発表会、７大学院から47人、15府省で実施）

◎　法科大学院生インターンシップ（平成21年度より実施）

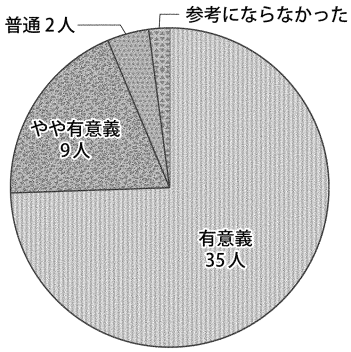
法科大学院の学生に行政実務に係る就業経験の機会を付与することにより、法科大学院が教育の一環として行うエクスターンシップに協力するとともに、公務理解に資することを目的として年２回実施している。

第５回は、平成23年７月～９月に実習、７大学院から23人、11府省で実施

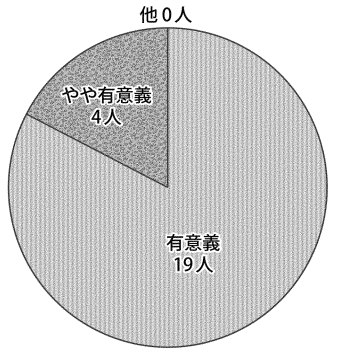
第６回は、平成24年２月～３月に実習、７大学院から14人、９府省で実施

霞が関インターンシップ参加者アンケート結果

公共政策大学院参加者47人



法科大学院第５回参加者23人



女性行政官による女子学生のための集中講義

国の行政の第一線で企画立案等の業務に活躍している女性行政官が、現在携わっている行政課題について、様々な経験を踏まえながら、分かりやすく語りかけるもので、仕事のやりがいや仕事と家庭の両立についても言及することにより、より多くの女子学生に国の仕事の魅力や勤務の実情等について理解を深めてもらうことを目的としている。

（東京地区（早稲田大学）、京都地区（京都大学）で、計３回７講演実施）

早稲田大学〈会場：総合学術情報センター　国際会議場　井深大記念ホール〉

月　日	講演テーマ及び講師
平成23年11月15日（火）	「安心・安全なインターネット環境を目指して」 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課 企画官　小川久仁子氏
	「農畜水産物および食品の安全性向上対策について　～農水省でのお仕事～」 農林水産省消費・安全局消費・安全政策課　課長補佐　春名　美香氏